

お盆は先祖さまに感謝し、ご家族の繁栄を祈ります。

今年、受難の年を思わせる事件、事故が身の回りで起こっています。交通事故で多くの方々がなくなっています。他には、山登りでの遭難、漁業での遭難、ホテル火災での犠牲者、などなど人為ミスで遭ったり、自然の恐ろしさを感じています。こんなに多くの不幸を起していること事態、ゆゆしき社会問題であります。今から1300年前の世の中は、比叡山で、護摩を焚いたり、法華経を誦して、天災、疫病、出産、の安全祈願をなされてきました。日本人は元来、神や仏に祈りをささげることが習慣になっていました。そして、多くの人々は、神社、きれいな景色を求めて仏閣を参拝されています。参拝される方のその願いことは、家族みな健康で災害に巻き込まれないように願っています。最近、土、日になれば、東京、大阪、奈良、愛知、滋賀から高齢者、若いご夫婦、若者、家族連れがお寺参りをされるようになってきました。その都度、本堂を開けて、本尊様はもちろん、布袋尊、真盛上人像、地獄絵図、そのほかの軸を説明し、縁のありがたさを聞いていただいています。この前も、通りすがりの方が、本堂前で手を合わしている方に出会わせていただきました。今も昔も仏様への信仰が受け継がれていることはうれしく感じています。これから五年後、十年後、変わらずにこの地の暮らし続けていただけるように願いたいし、生きがいを持った生涯にしたいとすることが本当の幸せのよきな気がします。

「縁」に恵まれて

昔からお盆は、ご先祖様への感謝の行事として行われてきました。しかし、お盆の行事は、自分の両

親やご先祖様への感謝だけでなく、誰からも供養されていない多くの無縁の霊に対しても行われなければなりません。

私たちにとつておおよそ無縁のものはありません。すべての生きとし生けるもののおかげで活かされているのです。たとえ目に見えなくても無数の方々のおかげで今の自分があるのです。

そう思うと、今、こうして生きている幸せを感じるにはいられないはず。

こうした有縁無縁のご先祖様に心から感謝の気持ちを表すのがお盆です。

亡くなったご先祖様ばかりではなく、生きとし生けるものすべてに感謝する心を持つことです。



墓掃除前の本堂前の風景

お盆の予定

◎ 墓参りについで

三田、馬場、仁和寺、沖田、下の城、南市の

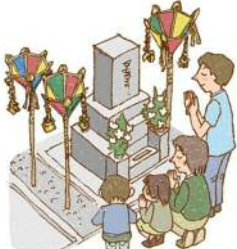
皆さんは八月七日(火)から十二日(日)毎日

午前五時よりお待ちしています。

佐賀の皆さんは、十三日(月)

午前五時半～六時半までにお願

いします。上寺の皆さんは、十三日(月)



午前六時四十五分～午前七時半までにお願

他所の方は、五日(日)の午前中にお待ちして

います。◎ 棚経は、十四日(火)

午前四時より、午後二十時まで1日かかります

ので、よろしく願います。◎ 盆礼は、十五日(水)午前六時より、本堂で

受付をしています。持ち物は、米一升と塔婆代

です。◎ 盆施餓鬼会法要

十五日午後一時三十分より始めます。ぜひお参

無上甚深微妙の教え

この上なく深い真の教えのある法華経には、はかり知れない命の尊さ、出

会うことはむずかしさを説いています。しかし、私はいま、お釈迦さまがほんとうの心をあかさされた真実の教えである

法華経に出会い、お経の文字を見て、聞いて、知ることができました。どうか、お釈迦さまの説かれた第一のすぐれた教えを信じ、習いきわめること

ができますよう、心から誓願いたします。最高の大なる法華経の教えを、私の小さな考えによって理解しようとする

のではなく、法華経を見聞きし、お経の文字にすなおにふれることができれば、そのまま、すべての人に心の安らぎを与えることができます。と信じて法

居眠りアーヌルダ

お釈迦様の弟子アーヌルダは、お説法を聞いている時に、居眠りをして、肝心なところを聞き逃したので、今後一切眠らないと誓い、修行中でも不眠不休でされていきました。目がただれ、このままにしておくと失明すると周りからの忠告を無視し、一度自分で決めたことを押し通されました。その結果、目が見えなくなりました。それ以後、居眠りのアーヌルダから天眼のアーヌルダと呼ばれました。心の目が開かれて、真実の姿が見えるようになったそうです。

あるとき、自分の衣が綻んだので、糸で紡ぐため、針に糸が通すことができなかった。

通りすがりの方に私に功德を積ませてくださ

といて、針に糸を通され、衣の綻びが直り。誰かも

わからなかったが、後にな

ってお釈迦様と聞いて驚

かれました。目が見えな

くなったが、心の目が開

いて、尊いお釈迦様の姿と

らえられたそうです。



編集後記

今年、早々に台風が上陸して、大きな爪痕を残しました。何か一年ごとに、日本が変わっていくような気がします。物の豊かさに恵まれ、幸せな毎日です。怖い気がします。今生きては、物におぼれず、人に喜ばれることを大切にしたいものです。

発行者 高島市安曇川町中三四五九

電話(携帯)〇九〇一三七〇八一七二〇六

http://www.eonet.ne.jp/~gyokusenji/